



2022年2月8日

各位

会社名 株式会社 J T O W E R  
 代表者名 代表取締役社長 田中 敦史  
 (コード番号: 4485 東証マザーズ)  
 常務取締役 CFO  
 問合わせ先 コーポレート本部長 中村 亮介  
 (TEL. 03 - 6447 - 2614)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最新の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表した2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の業績予想の修正につきまして、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年3月期通期業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	(参考) EBITDA*1	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,600	百万円 1,590	百万円 260	百万円 180	百万円 100	円 銭 4.80
今回修正予想 (B)	4,200	1,670	520	490	280	12.85
増減額 (B-A)	△400	80	260	310	180	-
増減率 (%)	△8.7	5.0	100.0	172.2	180.0	-
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	3,501	1,349	418	178	506	24.58

\*1: EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+長期前払費用償却額

#### 2. 修正の理由

売上高については、国内 IBS 事業を中心とした既存成長施策は好調に推移しており、また、ローカル 5G や交通信号機の実証プロジェクト等の新規プロジェクトにより新たに 127 百万円の増加が見込まれております。一方で、タワー事業における鉄塔カーブアウトの契約移管時期の後ずれにより 302 百万円の売上高の減少や、海外 IBS 事業における新規 M&A の未実現により 233 百万円の売上高の減少が見込まれております。その結果、売上高は前回発表予想を下回る 4,200 百万円となる見込みです。

利益面については、既存成長施策での収益性改善の一方で、上記の売上高減少により売上総利益は 109 百万円の減少となる見込みです。また、予定していた 5G ミリ波対応共用無線機に関する開発費 319 百万円の発生時期の後ずれやその他の販売費及び一般管理費が減少する見込みとなった結果、営業利益は 520 百万円、経常利益は 490 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は 280 百万円となり、前回発表予想を上回る見込みです。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

以 上